

手紡ぎ手織り研究会ミニシンポジウム

# 「手仕事」の 意義を考える




2017. **12.2** **土** 13:30 ~  
(13:00 受付開始)


会場 愛知大学豊橋校舎  
研究館1階第1・2会議室

ここ1~2年、人工知能(AI)が目覚ましい発展を遂げ、ロボットがある種の人間労働を代替するような事態も生じています。しかし私たち人間が「身体」をもった存在である以上、「手仕事」はその意義をより強めていくでしょう。効率性の経済学を越えたところに《手仕事学》を構想するのも、今の時代だからこそ意義あることではないでしょうか。

今回は、実際に手紡ぎ・手織りの手仕事に関わっておられる3名の女性から、その活動内容や取組みの思い、今後の抱負などをお聞きし、併せてフロアの皆さんと共に手仕事の意義について考えてみたいと思います。

## プログラム Program

 あいさつ 阿部 聖 (所長、地域政策学部教授)

 パネルディスカッション  
パネラー

森谷尚子氏 (松阪もめん手織伝承グループゆうづる会)

加藤照子氏 (社会福祉法人遠江学園・生活支援員)

菰田真理子氏 (織物教室主宰)

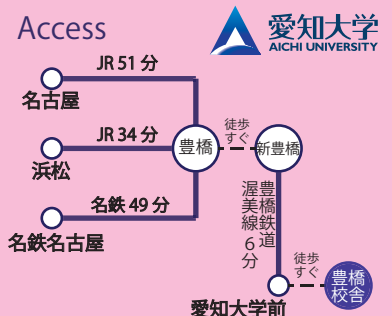
コーディネーター

岩崎正弥 (研究会代表、愛知大学地域政策学部長)

 質疑応答

**参加無料・申込不要**

お気軽に会場までお越しください



【お問合せ先】

愛知大学中部地方産業研究所  
〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町1-1

TEL (0532)47-4140 FAX (0532)47-4187  
URL <http://www.chusanken.jp/>